

日本建築文化史 事典

トピックス
古代
2021

凡 例

1. 本書の内容

本書は、日本の建築文化史に関する出来事を年月日順に掲載した記録事典である。

2. 収録対象

- (1) 遺跡、寺社、教会、城郭、住宅・民家、書院・茶室、公共施設、商業施設・オフィス・工場、興行場、道路・橋梁、都市計画、文化財・建築論、技術・資材、人物・団体・組織、事件・事故、法制、建築賞・コンペ、災害など、日本の建築文化史に関する重要なトピックとなる出来事を幅広く収録した。また、上記分類に入らないトピックはその他として分類した。
- (2) 収録期間は古代から2021年（令和3年）7月まで、収録項目は2,532件である。

3. 排 列

- (1) 各項目を年月日順に排列した。
- (2) 日が不明な場合は各月の終わりに、月日とも不明または確定できないものは「この年」として、おおよその年しか分からない場合は「この頃」として、各年の末尾に置いた。

4. 記載事項

各項目は、分野、内容を簡潔に表示した見出し、本文記事で構成した。

5. 分野別索引

- (1) 本文に掲載した見出し項目を分野別にまとめた。
- (2) 分野構成は、索引の先頭に「分野別索引目次」として示した。
- (3) 分野名の中は年月日順に排列し、本文記事の所在は、本文見出しと年月日で示した。

6. 地名索引

- (1) 本文に記載した項目を関係する地名（都道府県）別にまとめた。
- (2) 地名の一覧を、索引の先頭に「地名索引目次」として示した。
- (3) 各地名の中は年月日順に排列し、本文記事の所在は、本文見出しと年月日で示した。

7. 人名・団体名索引

- (1) 本文記事に現れる人名・団体名などを読みの五十音順に排列した。
- (2) 各人名・団体名の中は年月日順に排列し、本文記事の所在は、本文見出しと年月日で示した。

8. 事項名索引

- (1) 本文記事に現れる用語、テーマ、人名、団体名などを事項名とし、読みの五十音順に排列した。
- (2) 各事項名の中は年月日順に排列し、本文記事の所在は、本文見出しと年月日で示した。

9. 参考資料

本書の編集に際し、主に以下の資料を参考にした。

- 「日本史分類年表」 東京書籍, 1984.6
「日本史分類年表」机上版 東京書籍, 1989.4
「建築大辞典 第2版」 彰国社, 1993.6
「近代日本建築運動史」 ドメス出版, 2003.5 松井昭光
「図説日本建築年表」 彰国社, 2002.5 日本建築年表編集委員会
「図説・近代日本住宅史」新版 鹿島出版会, 2008.2 内田青蔵ほか
「コンパクト版 建築史」 彰国社, 2009.1 「建築史」編集委員会
「耐震木造技術の近現代史 伝統木造家屋の合理性」学芸出版社, 2018.3 西澤英和
「日本建築様式史 増補新装」美術出版社, 2010.4 太田博太郎ほか
「明治大正昭和建築写真聚覧」文生書院, 2012.2 藤井恵介ほか編
「昭和建築世相史」日本図書センター, 2012.8 宮本和義
「日本近代建築家列伝：生き続ける建築」鹿島出版会, 2017.1 丸山雅子
「検証平成建築史」日経アーキテクチュア, 2019.4 内藤廣
「日本近代建築法制の100年 市街地建築物法から建築基準法まで」日本建築センター, 2019.6 日本近代建築法制100年史編集委員会
「日本の近代・現代を支えた建築 建築技術100選」日本建築センター, 2019.6 日本の近代・現代を支えた建築-建築技術100選-委員会/選定・編集
「日本の建築家解剖図鑑」エクスマレッジ, 2020.1 二村悟
「カラー版図説 日本建築の歴史」学芸出版社, 2020.12 矢ヶ崎善太郎ほか

文化庁「国指定文化財等データベース」 <https://kunishitei.bunka.go.jp/bsys/searchlist>

文化遺産オンライン <https://bunka.nii.ac.jp/>

日経アーキテクチュア <https://xtech.nikkei.com/media/NA/>

日本建築学会 <https://www.aij.or.jp/>

国土交通省 住宅・建築 <https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/index.html>

た。1954年以来5次にわたる発掘調査が行われ、150軒以上の堅穴住居址が発見された。古墳時代前期から奈良時代に至る各時期の堅穴住居址によって、古墳時代における堅穴住居の構造や集落の変遷が明らかになった。

578年 (敏達7年)

この年〔人物・団体・組織〕金剛組創業 四天王寺建立のため聖徳太子によって百濟より招かれた3人の宮大工のうちの1人である金剛重光により金剛組が創業された。神社仏閣建築の設計・施工、城郭や文化財建造物の復元、修理等を主に手がけ、江戸時代に至るまで四天王寺お抱えの宮大工となる。1955年に株式会社化、2005年には高松建設が全額出資した新・金剛組が設立された。現存する世界最古の企業として知られる。年始の儀式、手斧始を行なう数少ない企業のひとつ。

584年 (敏達13年)

この年〔寺社〕日本最古の寺、石川精舎建立 蘇我馬子が奈良県橿原市石川町の自邸に仏殿をつくり、百濟伝来の仏像を安置した。石川精舎と呼ばれるこの仏殿は日本最古の寺院といわれる。

585年 (敏達14年)

この年〔寺社〕日本最古の仏塔建立 蘇我馬子が大野丘の北に塔を建て、仏舍利を取めた。かつては奈良県橿原市の和天庵寺跡にあったとする説があったが、現在では否定されており、日本最古の仏塔とされるこの塔の跡地は不明である。

587年 (用明2年)

この年〔寺社〕坂田寺建立 奈良県高市郡明日香村に坂田寺が建立された。日本初の尼寺とされる。用明天皇の病氣回復を祈って鞍作多須奈が建立し、7世紀初めに多須奈の子・止利が本格的な寺院とした。継体天皇の時代に多須奈の父・達等が坂田原に結んだ草堂が始まる。渡来人・鞍作氏の氏寺で、平安時代には金剛寺とも称された。奈良前期まで栄えたが、中世以降は衰亡し、多武峰の妙楽寺や興福寺の末寺となった。

588年 (崇峻1年)

この年〔寺社〕飛鳥寺の造営開始 奈良県明日香村で、飛鳥寺の造営が始まった。日本初の本格的な寺院で、法興寺とも称する。蘇我馬子の発願により、588年から609年にかけて百濟工人の指導のもとに造られた。この間、596年に造営をほぼ終え、606年には鞍作止利の作とされる本尊・丈六釈迦如来像を安置。塔を中心に東・西・北に3金堂を配し、これらを中門から延びる回廊で囲んだ飛鳥寺式伽藍配置を持つ。718年平城京に移建されて元興寺となり、当初の地に残されたものは本元興寺と呼ばれた。1196年の落雷で伽藍を焼失し、現在は本尊と安居院を残すのみとなっている。

この頃〔技術・資材〕日本に和瓦が伝来 百濟から仏教とともに和瓦が伝来した。飛鳥寺で初めて利用されたとされる。現存日本最古の瓦は飛鳥時代のもので、元興寺(飛鳥寺を移築)の極楽坊本堂と禅室に葺かれている瓦とされる。

593年 (推古1年)

この年〔寺社〕四天王寺の造営開始 大阪市天王寺区で、四天王寺の造営が始まった。日本初の官寺とされる。四天王を本尊として聖徳太子が造営を開始したと伝わる。中門・塔・金堂・講堂が南北一直線に並び、これらを回廊で囲んだ四天王寺式伽藍配置を持つ。836年以降何度も焼失しており、現在の伽藍は第二次大戦後に復興されたものである。

6世紀

この頃〔技術・資材〕中国から建築材として磚が伝来 日本における内装タイルの源流とされる磚が仏教と同時期に中国から伝来し、この頃に造営された法隆寺をはじめとする寺院の建築材として敷瓦などに使われた。現在のタイルに近い陶板状の製品で、床材として使用された江戸中期の寺院建築も多く残っている。

この頃〔技術・資材〕飛鳥寺で日本で最初に瓦屋根が使用される 6世紀末頃、蘇我氏により飛鳥寺が建立された。日本で初めて瓦屋根を葺いた寺院とされる。これ以降、瓦葺きの寺院が全国各地に建立された。

この頃〔その他〕仏教伝来 この頃、日本に仏教がもたらされたとされる。精確な年については538年(戊午)、552年(壬申)等諸説ある。仏教受容を巡って豪族の蘇我氏と物部氏が権力争いを激化させたが、蘇我氏の勝利で仏教は急速に普及。その後、推古天皇の「三宝興隆の詔」の発布や聖徳太子の「十七条の憲法」が制定され、国家鎮護の道具となり四天王寺や飛鳥寺など寺院建立へとつながった。

603年 (推古11年)

この年〔寺社〕広隆寺創建 京都市右京区太秦で、広隆寺が創建された。真言宗御室派の別格本山で、蜂岡寺、太秦寺とも称される。603年に渡来人・秦河勝が聖徳太子からもらい受けた仏像を安置するため、622年に建立したと伝わる。四天王寺や法隆寺などとともに、聖徳太子建立七ヶ寺の一つである。818年と1150年に焼失し、その都度再建。現在ある柱が朱塗りの講堂は1165年に復興されたもので、国の重要文化財に指定されている。

607年 (推古15年)

この年〔寺社〕法隆寺建立 奈良県斑鳩町に法隆寺が建立された。聖徳宗の総本山で、斑鳩寺、法隆寺問寺とも称される。用明天皇の遺命を受け、聖徳太子と推古天皇が607年に建立したと伝わる。法隆寺は670年の落雷で焼失したという記録があり、現存する西院伽藍の建立年代をめぐって、創建時か焼失後の再建時かという論争が明治時代から繰り広げられていた。戦後、創建当初の若草伽藍跡の発掘が進み、現在の建物の南東方向に南北に並んだ塔と金堂の跡が発見された。これにより、西院伽藍は焼失後の7世紀後半から8世紀初めまでに、現在地に飛鳥様式で再建されたことが判明した。西院伽藍は現存する世界最古の木造建築として知られ、東に金堂、西に五重塔を並置し、中門から延びる回廊に囲まれている。こうした伽藍配置は法隆寺式と呼ばれる。その後も各時代に建物が建立され、多数が国宝に指定されている。1993年、「法隆寺地域の仏教建造物」として世界遺産登録。

伝統的な海鼠壁が用いられた。旧幕外交文書での正式名称は江戸ホテル。1872年の銀座大火で焼失。

- 10.13 【その他】江戸城、皇居と定める 江戸城を行幸中の皇居と定め、東京城と改称するとの布告が出された。明治天皇は東京への行幸(東幸)のため、京都を同年9月20日出発し、江戸城内西の丸に到着した。

1869年 (明治2年)

- 2.4 【都市計画】東京府、町名改正 東京府が朱引内50区の町村を合併して、712箇所に町名改正を行った。
- 7.9 【公共施設】延遊館命名 浜御殿(後の浜離宮)庭園内に建てられた石室が近代日本最初の迎賓施設として延遊館と命名された。元来は旧幕府の海軍伝置所の生徒控室として建設されていたものだったが、幕府崩壊のため未完成のまま遺されていたものを外国官(後の外務省)がこの石室を移築して庁舎に転用する計画から転じてこの石室を外国公使の接待所として利用する事を稟請。結果、同年5月に外国官に石室が交付された。改修後、各国公使の謁応や宿舎などに用いられた。木造平屋建ての瓦葺。外壁は石張り。1884年に鹿鳴館の建設に伴い、外務省から宮内省に移管。1889年12月に老朽化のため廃止され解体。

1870年 (明治3年)

- 3.5 【公共施設】品川灯台竣工 東京湾品川沖の第二台場に品川灯台が竣工し、点灯された。設計はフランスの技術者、レオンス・ヴェルニー。当時は煉瓦造の円形灯台で、東京湾沿岸の4つの洋式灯台(観音崎、野島崎、城ヶ島)のひとつ。明るさは100燭光の不動燈で、光源の高さは地上から約5.8m、海面上からは約16m。光の届く距離は約18km。現存最古の洋式灯台として1964年に品川から愛知県明治村へ移築。
- 10.20 【人物・団体・組織】工部省設置 工業、土木、鉱山、造船、鉄道、建築など殖産興業を推進するために工部省が設置された。1885年に内閣制度設立の際に廃省。
- この年 【技術・資材】日本初の煉瓦工場設立 日本初の煉瓦工場が大府堺市に設立される。また1872年の銀座大火の翌年の銀座煉瓦街の建設の際に大量の煉瓦を必要としたため東京の小菅にも煉瓦工場が設立された。

1871年 (明治4年)

- 2月 【公共施設】泉布観竣工 造幣寮の応接所として泉布観が大阪市に建設された。設計は英国人トーマス・J・ウォートルスで、明治初の外国人建築家による洋風建築。木骨煉瓦造の2階建てで、周囲に吹放しのバルコニーをめぐらせたコロニアル様式。室内は天井が高く、暖炉やシャンデリアなどが備えられており優美な装飾が施されている。泉布観の名は明治天皇が命名。行在所としても使用された。1956年に重要文化財に指定。
- 3月 【法制】大阪府、道路経界令公布 大阪府が都市開発整備として道路経界道路令を公布した。道路幅員の試みで道路と建築敷地の境界を侵す物の扱いを規定した。
- 4月 【道路・橋梁】東京府、人道車道の区別 東京府が明治政府に『府下道路修繕之儀二付伺書』を提出し、新橋や銀座など7路線に人道と車道の区別をすることで市街地の道路修築を図った。

1872年 (明治5年)

- 4.3 【災害】銀座大火発生 明治5年2月26日(旧暦)、和田倉門内旧会津藩邸から出火。強風にあおられ東京の中心地、丸の内、銀座、築地一帯が焼失した。死者8人、負傷者60人、焼失戸数4874戸。この火災をきっかけに明治政府は、銀座を耐火構造の西洋風の街路へと改造することとなった。
- 7月 【商業施設・オフィス・工場】第一国立銀行竣工 「国立銀行条例」に基づき東京に第一国立銀行(三井組バンク)が竣工した。設計は二代清水喜助。当初は幕府御用所であった三井組の御用為替所として建設されたが、竣工とともに明治政府の意向で日本最初の銀行建築となった。2階建の洋風建築の上に天守閣のような大屋根と望楼を載せ、唐破風や千鳥破風をあしらった構成が特徴だった。1896年に普通銀行となり第一銀行と改称。建物は1897年に解体された。
- 7月 【商業施設・オフィス・工場】富岡製糸場竣工 器械製糸の官営工場である富岡製糸場が建設された。設計はエドモン・オーギュスト・バスチャン。同年10月に操業開始。創設主任は尾高惇忠。仏国人技師ポール・ブリュナの企画指導のもとにフランスの技術を導入して建設された。敷地の中心に位置する操糸所は桁行が140mと長大だが、キングポストラスの小屋組や高い天井、鉄製ガラス窓で明るい大空間となっている。建築資材のほとんどは国産品が用いられ、煉瓦や瓦も付近に窯を築いて生産された。2014年に国宝指定。また富岡製糸場と絹産業遺産群として世界遺産に登録。
- 8.2 【法制】「学制」発布 日本初の近代学校制度に関する法令、「太政官令214号(学制)」が発布された。序文(被仰出書)では、全国に学校を設立し、学問の意義と全国民を対象とする学校制度であることが強調されている。これによって全国に学校が設けられ、近代学校が発展した。しかし学校設立の負担や西洋教育を模倣した画一的な学制に対する批判が高まり、1879年に「教育令」が公布され、「学制」は廃止。
- 9.12 【その他】新橋横浜間鉄道開通 日本で初めて新橋横浜間で鉄道が正式に開通した。この時の新橋駅は旧汐留駅の場所に、横浜駅は現在の桜木町駅のある場所に建設された。当時は1日往復で、約29kmの道程を53分ほどかけて走った。正式開業に先立ち、同年5月に品川横浜間が開通し、7日に仮開業した。開業日には新橋・横浜両停車場で開業式が行われ、明治天皇も参加。天皇は御召列車で両停車場間を往復した。
- この年 【商業施設・オフィス・工場】官営深川セメント製造所竣工 近代建築に必要なポルトランドセメントの国産化を図ることを目的に官営深川セメント製造所が竣工した。その後は設備も整え品質も向上したが、収益が伴わず赤字経営となったため1883年に浅野総一郎に払い下げられ、工場は浅野セメントとして存続した。その後、日本セメントを経て、現太平洋セメントとなった。
- この年 【技術・資材】トタン板が日本で初採用される トタン板が初めて日本で採用された。トタン板はフランスの科学者ポール・ジャック・マルレーンによって1742年に発明され、建材の他にじょうろ、ちりとり等の日用品の材料として用いられる。1881年に東京市に施行された「防火線路並二屋上制限令」によって、鉄道の沿線200m以内の建物はすべて不燃性の屋根材を葺くことが規定されたことがきっかけで普及したと言われ、日本の本格的な国産化は、1906年に官営八幡製鐵所に薄板製鉄工場が建設され、亜鉛鉄板40トンが製造されたことに始まる。不燃材であるトタンの需要は飛躍的に増大し、1923年の関東大震災の際には復興資材としてトタンが重要な役割を果たした。亜鉛鉄板の品質の向上を図るため、1936年には亜鉛鉄板単純化規格が制定され、後にJES規格を経て1951年にJIS規格となった。
- この年 【法制】京都府、「町並一間引下令」公布 京都府が都市開発整備として「町並一間引下令」を公布した。土地を地主から公的に買上げて、道路幅員を試みたもの。1882年11月

ループ高輪研修センター、【日事連会長賞】聖ステパノ学園講堂「海の見えるホール」。

2007年 (平成19年)

- 1.25 (事件・事故) アバグループ耐震偽装発覚 国土交通省はホテルや分譲マンションを手がけるアバグループが運営する京都駅周辺のホテル2棟で、構造計算書の改竄や計算ミスが発覚したと発表した。2005年の構造計算書偽造事件が発覚後に、イーホームズから国土交通省に通報があり、アパホテルでの偽造が判明したもの。
- 3.30 (商業施設・オフィス・工場) 東京ミッドタウン開業 東京都港区赤坂に大規模複合施設東京ミッドタウンが開業した。全体計画は国際設計競技の結果、アメリカのスキッドモア・オーウィングズ・アンド・メルルが担当。施工は竹中工務店など。当地は明治以前は萩藩毛利家下屋敷、明治以降は陸軍駐屯地だった。戦後に米軍将校の宿舎として接収されたが返還され、1962年から陸上自衛隊駐屯地や防衛庁本庁舎が置かれた。1988年の「多極分散型国土形成促進法」に基づいて防衛庁などの移転が決定し、2000年以降に再開発計画が本格的に進んだことにより、複合施設建設となった。
- 5.30 (法制) 「住宅瑕疵担保履行法」公布 「住宅瑕疵担保履行法」が公布された。瑕疵担保責任が確実に履行されるよう新築住宅の売主などに対して保証金供託または保険加入を義務づける法律。すでに新築住宅については「品確法」で10年間の瑕疵担保責任が義務付けられていたが、2005年の構造計算書偽造問題の発覚により瑕疵担保責任が果たされない場合があることが明らかとなった。そのため確実に瑕疵担保責任の履行を実現するために制定された。
- 6.19 (事件・事故) 渋谷温泉施設爆発事故 午後2時半ごろ、東京都渋谷区松濤の女性専用温泉施設・シエスパ付属の温泉くみ上げ施設地下1階で爆発があり、建物の屋根や壁と床が吹き飛び全壊した。従業員3名が死亡、ほかに従業員2名と通行人など計8名が重軽傷を負った。ガス抜き用配管が大量の水で詰まっていたために配管内をガスが逆流して機械室内に充満、何らかの原因でガスに引火したとみられる。施設を所有する不動産会社は、ガス発生の危険性を認識していたにもかかわらず、ガス検知器を設置せず安全措置を軽視していたという。
- 6.23 (公共施設) 岩見沢駅4代目駅舎、暫定開業 岩見沢駅の4代目駅舎が暫定的に開業した。北海道岩見沢市に位置するJR北海道の駅で、地上駅だが橋上駅に近い構造を持つ。駅舎としては全国初となる一般公募コンペの結果、西村浩が設計を担当した。同市のイメージに合わせた煉瓦を外壁に使用しているが、建設の際には煉瓦に寄付者の名前などを刻印する岩見沢レンガプロジェクトが実施された。駅舎と自由通路の大部分はガラス張り、窓枠には古レールが使用されている。2009年6月23日、全面開業。同年のグッドデザイン賞をはじめ、日本建築学会賞、ブルネル賞、公共建築賞、BCS賞など受賞歴多数。
- 7.16 (災害) 新潟県中越沖地震 午前10時13分ごろ、新潟県と長野県で強い地震があり、新潟県長岡市、柏崎市、刈羽村、長野県飯綱町で震度6強を観測した。震源は新潟県上中越沖で、震源の深さは約17km、マグニチュードは6.8。12月28日の時点で、15人が死亡、2345人が負傷。約2400人以上が避難所での生活を余儀なくされた。25日午前6時52分ごろにはマグニチュード4.4の余震があり、同県長岡市や刈羽村などで震度4を観測した。全壊家屋1319棟、半壊・一部損壊家屋4万691棟にのぼった。しかし一方で液状化対策や耐震補強の効果が確認された地震でもあった。2004年の新潟県中越地震を受けて下水道の液状化対策を実施しており、マンホールの浮き上がりなどは限定的な被害に留まった。
- 10.12 (人物・団体・組織) 黒川紀章死去 建築家、黒川紀章死去。1934年生れ。京都大学建築学科を卒業後、東京大学大学院では丹下健三研究室で設計研究に従事。1960年、菊竹清訓らのメタボリズム・グループ結成に参加。のちに独立し、海外20ヶ国以上で設計。1998年、カザフスタンの新首都アスタナ(旧アクモラ)の設立を担当し、日本人建築家として初めて外国の首都設計を手掛けた。また大阪万博ではカプセル住宅を提唱、のちに

これを商品化して中銀カプセルタワービル(1972)を設計。他にも東京湾内に巨大な人工島を建設する「東京計画2005」を発表する。代表作に国立民族学博物館(1989)、ヴァン・ゴッホ美術館新館(アムステルダム)(1998)、クアラルンプール新国際空港(マレーシア)(1998)、国立新美術館(2006)など。文化功勞者を受賞。

- 10.30 (事件・事故) 耐火大臣認定偽造問題 建材メーカーのニチアスが軒裏の準耐火性能試験及び間仕切壁の耐火に関する国土交通大臣認定の性能評価試験を不正受検していたことが判明した。試験結果に有利となるように規定よりも含水率の高い繊維混入ケイ酸カルシウム板などを用いた不正な試験体を使用して試験に合格し、大臣認定を受けていた。4万件以上の住宅などで改修を余儀なくされた。
- 11.30 (文化財・建築論) 近代化産業遺産認定発表 経済産業省は日本の産業近代化の過程を伝える建築物や機械などを近代化産業遺産として認定し、ストーリーとして構成遺産群をまとめ近代化産業遺産群33などとして発表した。釜山反射炉や箱根登山鉄道、旧手宮機関車などが認定されている。2013年9月には九州・山口の近代化産業遺産群を世界遺産へ登録推薦した。
- 12.4 (文化財・建築論) 豊岡市出石が重要伝統的建造物群保存地区に選定 兵庫県豊岡市出石が伝統的建造物群及び地割がよく旧態を保持しているものという基準により城下町として重要伝統的建造物群保存地区に選定された。
- この年 (文化財・建築論) 石見銀山遺跡とその文化的景観が世界遺産登録 石見銀山遺跡とその文化的景観、ある文化(または複数の文化)を特徴づけるような人類の伝統的集落や土地・海洋利用、あるいは人類と環境の相互作用を示す優れた例であること。特に抗しきれない歴史の流れによってその存続が危うくなっている場合、などの基準により世界遺産に正式登録された。
- この年 (建築賞・コンペ) 平成19年 日事連建築賞受賞作品 【国土交通大臣賞】黒部市立宇奈月小学校、【日事連会長賞】高原邸(古木坊)。
- この年 (建築賞・コンペ) 2007年(平成19年)日本建築学会各賞 【日本建築学会大賞】青木正夫の建築計画学の理論的体系化と東アジア地域の学術交流の発展に尽くした功績、青山博之の鉄筋コンクリート構造の耐震性の高度化に関する一連の研究と国際技術交流に関する貢献、【日本建築学会賞(作品)】古谷誠章の茅野市民館。
- この年 (建築賞・コンペ) 2007年度 JIAの建築賞 【JIA日本建築大賞】藤本壮介の情緒障害児短期治療施設。
- この年 (建築賞・コンペ) 第19回(平成19年)高松宮殿下記念世界文化賞(美術関係)建築部門 ジャック・ヘルツォーク、ピエール・ド・ムーロン(氏の業績に対して)。
- この年 (建築賞・コンペ) 第21回(2007年度)村野藤吾賞 北川原 温の中村キース・ヘリング美術館。
- この年 (建築賞・コンペ) 第48回(2007年)BCS賞(建築業協会賞) 島根県芸術文化センターほか14件。
- この年 (建築賞・コンペ) 第64回(平成19年)日本芸術院賞(美術関係)建築部門 鈴木了二の金刀比羅宮プロジェクト。
- この年 (建築賞・コンペ) 土木学会デザイン賞2007(平成19年)(土木学会景観・デザイン委員会デザイン賞) 【最優秀賞】苦田ダム空間のトータルデザイン、モエレ沼公園、山形県金山町まちなみ整備。

2008年 (平成20年)

- 1月 (公共施設) 神奈川工科大学KAIT工房開館 厚木市にある神奈川工科大学キャンパスの中央広場にKAIT工房が開館した。設計は石上純也。鉄骨造の平屋建てで不整形な四

【遺跡】

福井洞窟の洞窟住居	BC30000(この頃)
上場遺跡の竪穴式住居	BC15000(この頃)
上黒岩岩陰遺跡	BC12000(この頃)
上野原遺跡の竪穴住居	BC7500(この頃)
平出遺跡の竪穴住居	BC5000(この頃)
与助尾根遺跡の竪穴式住居	BC5000(この頃)
三内丸山遺跡の竪穴住居	BC3500(この頃)
観塚遺跡の平地住居	BC3000(この頃)
吉野ヶ里遺跡の環濠集落	BC500(この頃)
津島遺跡	BC100(この頃)
三殿台遺跡の竪穴住居	100(この頃)
袈裟禪文銅鐸(伝讃岐国出土)	200(この頃)
登呂遺跡の竪穴住居	200(この頃)
安満遺跡の竪穴住居	300(この頃)
佐味田古墳出土の家屋文鏡	300(この頃)
赤堀茶臼山古墳出土の家形埴輪	300(この頃)
五領遺跡の竪穴住居	500(この頃)
登呂遺跡発掘	1947(この年)

【寺社】

日本最古の寺、石川精舎建立	584(この年)
日本最古の仏塔建立	585(この年)
坂田寺建立	587(この年)
飛鳥寺の造営開始	588(この年)
四天王寺の造営開始	593(この年)
広隆寺創建	603(この年)
法隆寺建立	607(この年)
中宮寺創建	621(この年)
全国に46カ寺あり	624(この年)
百濟大寺造営	639(この年)
山田寺の造営開始	641(この年)
出雲大社、社殿造営	659(この年)
法隆寺焼失	670(この年)
法隆寺金堂再建	670(この頃)
法隆寺五重塔建立	670(この頃)
伊勢神宮造営	674(この年)
當麻寺創建	681(この年)
伊勢神宮「式年造替の制」	685(この年)
薬師寺造立を発願	698(この年)
川原寺創建	7世紀後半(この頃)
法起寺三重塔落成	706(この年)
興福寺創建	710(この年)
平城京に寺院移転	710(この年)
大安寺創建	716(この年)
元興寺創建	718(この年)
薬師寺移転	718(この年)
海龍王寺五重小塔	729(この頃)

薬師寺東塔建立	730(この年)
法隆寺伝法堂建立	739(この年)
法隆寺東院創建	739(この年)
法隆寺夢殿建立	739(この年)
東大寺法華堂建立	748(この頃)
東大寺大仏殿完成	751(この年)
東大寺正倉院完成	756(この頃)
東大寺転害門建立	757(この頃)
唐招提寺建立	759(この年)
唐招提寺講堂移建	759(この年)
唐招提寺金堂建立	759(この頃)
柴山寺八角堂	760(この頃)
石山寺造営	761(この頃)
春日大社、社殿造営	768(この年)
秋篠寺創建	776(この年)
延暦寺創建	788(この年)
教王護国寺創建	796(この年)
新薬師寺本堂建立	8世紀(この頃)
唐招提寺経蔵建立	8世紀(この頃)
東大寺本坊経庫建立	8世紀(この頃)
法隆寺経蔵建立	8世紀(この頃)
法隆寺食堂建立	8世紀(この頃)
法隆寺東室建立	8世紀(この頃)
法隆寺東大門建立	8世紀(この頃)
當麻寺西塔建立	8世紀(この頃)
當麻寺東塔建立	8世紀(この頃)
室生寺金堂建立	8世紀(この頃)
室生寺五重塔建立	8世紀(この頃)
法隆寺綱封蔵建立	8世紀(この頃)
金剛峯寺創建	816(この年)
延暦寺諸堂落成	824(この年)
金剛峯寺講堂落成	838(この年)
神護寺宝塔落成	850(この年)
延暦寺常行三昧堂落成	851(この年)
石清水八幡宮造営	859(この年)
醍醐寺創建	874(この年)
東大寺東南院造営	875(この年)
金剛峯寺根本大塔建立	885(この年)
金剛峯寺西塔建立	887(この年)
日吉大社東本宮本殿造営	887(この年)
日吉大社西本宮本殿造営	890(この年)
仁和寺八角堂落成	902(この年)
法性寺創建	925(この年)
醍醐寺法華三昧堂建立	949(この年)
醍醐寺五重塔建立	952(この年)
法性寺五重塔建立	954(この年)
薬師寺火災	973(この年)
横川中堂建立	975(この年)

《北海道》

函館五稜郭竣工	1864(この年)
開拓使札幌本庁竣工	1873.10.29
札幌農学校模範家畜房(モデルバーン)完成	1877(この年)
札幌農学校演武場竣工	1878.10.16
豊平館本館竣工	1880.11月
北海道庁本庁舎	1888(この年)
フローリングの製造開始	1913(この年)
函館大火発生	1934.3.21
布袋座火災	1943.3.6
寒住法制定	1953.7.17
2会による北海道大会開催	1957(この年)
日本建築学会、「市庁舎建設を設計競技とする要望書」提出	1963.3月
札幌の家(上遠野徹自邸)が竣工	1968(この年)
札幌オリンピック開催	1972.2.3-13
反住器竣工	1972.11月
『北海道の建築1863～1974』出版	1975(この年)
函館市元町末広町が重要伝統的建造物群保存地区に選定	1989.4.21
十勝沖地震	2003.9.26
若見沢駅4代目駅舎、暫定開業	2007.6.23
グループホーム火災発生	2010.3.13
札幌そしあるハイム火災発生	2018.1.31
北海道胆振東部地震	2018.9.6

《青森県》

三内丸山遺跡の竪穴住居	BC3500(この頃)
弘前城完成	1611(この年)
岩木山神社本殿再建	1694(この年)
弘前城、天守再建	1810(この頃)
弘前市仲町が重要伝統的建造物群保存地区に選定	1978.5.31
黒石市中町が重要伝統的建造物群保存地区に選定	2005.7.22

《岩手県》

中尊寺金色堂造立	1124(この年)
盛岡銀行(岩手銀行)本店竣工	1911.4.30
金ケ崎町城内諏訪小路が重要伝統的建造物群保存地区に選定	2001.6.15

平泉の仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群が世界遺産登録	2011(この年)
釜石市民ホール開業	2017.12.8

《宮城県》

高蔵寺阿彌陀堂造立	1177(この年)
大崎八幡宮社殿完成	1607(この年)
瑞巖寺本堂・庫裡再建	1609(この年)
日本建築学会、「市庁舎建設を設計競技とする要望書」提出	1963.3月
せんだいメディアテーク竣工	2000.8.10
村田町村田が重要伝統的建造物群保存地区に選定	2014.9.18
女川駅開業	2015.3月
仙台空港の民間運営開始	2016.7.1

《秋田県》

『蒙古襲来絵詞』に描かれた武家住宅	1293(この年)
奈良家住宅建築	1751(この頃)
康楽館落成	1910.8.13
仙北市角館が重要伝統的建造物群保存地区に選定	1976.9.4
横手市増田が重要伝統的建造物群保存地区に選定	2013.12.27

《山形県》

羽黒山五重塔再建	1372(この年)
若松寺観音堂建立	1509(この年)
米沢藩、興譲館開設	1776(この年)
済生館本館竣工	1878.9月
赤湯駅東口駅舎、竣工	1993.7.14

《福島県》

願成寺阿彌陀堂造立	1160(この年)
熊野神社長床造立	13世紀(この頃)
赤滝橋落下	1955.9.30
磐光ホテル火災発生	1969.2.5
下郷町大内宿が重要伝統的建造物群保存地区に選定	1981.4.18
飯坂温泉・若喜旅館火災発生	1994.12.21

【あ】

- ILO
吹き付け石綿の原則使用禁止 1975.9月
ILO、石綿条約採択 1986(この年)
- ICI社
国内でのポリエステル生産開始 1958(この年)
愛知県立工業専門学校(愛工専)
名古屋高等工業学校創設 1905.3.28
アウレンティ、ガエ
第3回(平3年)高松宮殿下記念世界文化賞〔美術関係〕建築部門 1991(この年)
- 青木建設
青木建設、経営破綻 2001.12.6
青木 淳
湯博博物館 1997.6月
1999年(平11年)日本建築学会各賞 1999(この年)
2020年度 JIAの建築賞 2020(この年)
2021年(令3年)日本建築学会各賞 2021(この年)
- 青木 正夫
2007年(平19年)日本建築学会各賞 2007(この年)
- 青山 博之
2007年(平19年)日本建築学会各賞 2007(この年)
- 明石 信道
明石信道死去 1986.12.3
赤羽 芳造
山梨県東山梨郡役所竣工 1885(この年)
赤松 佳珠子
第26回(2012年度)村野藤吾賞 2012(この年)
2016年(平28年)日本建築学会各賞 2016(この年)
- 赤松 貞範
秀吉が姫路城、天守改修 1581(この頃)
- アーキエイド
アーキエイド発足 2011.3.16
アーキグラム
磯崎新、『建築の解体』刊行 1975.4.15
- 秋月 種茂
高鍋藩、明倫堂開設 1778(この年)
- 秋田 城介泰盛
『蒙古襲来絵詞』に描かれた武家住宅 1293(この年)
- 秋田地蔵
秋田県木造住宅株式会社事件(秋住事件) 1998(この年)
- 秋葉 重信
備中松山城、天守完成 1683(この年)
- 秋元 和雄
建築会館竣工 1982(この年)
- 秋山 玉山
熊本藩、時習館開設 1755(この年)
- 秋山 宏
2013年(平25年)日本建築学会各賞 2013(この年)
- 浅石 優
1989年(平元年)日本建築学会各賞 1989(この年)
- 浅井 裕雄
2018年度 JIAの建築賞 2018(この年)
- 朝倉 貞景
須波阿須疑神社本殿再建 1491(この年)
- 朝倉氏
一乗谷朝倉館跡 1471(この頃)
- 朝倉 義景
一乗谷朝倉館跡 1471(この頃)
- 麻田 駒之助
麻田駒之助邸が竣工 1921(この年)
- 浅野 吉次郎
国内で合板の製造開始 1907(この年)
- 浅野 清
昭和60年 日本建築学会各賞 1985(この年)
- 浅野氏
広島城築城 1589(この年)
- 浅野セメント
官営深川セメント製造所竣工 1872(この年)
- 浅野 総一郎
官営深川セメント製造所竣工 1872(この年)
コンクリートブロックが日本に導入 1905(この年)
- 浅野 長晟
広島城築城 1589(この年)
- 旭化成建材
杭工事偽装問題発覚 2015.10.6
- 旭化成ホームズ
旭化成ホームズ設立 1972(この年)
- 旭硝子
板ガラス量産化に成功 1909(この年)
- 朝吹 常吉
朝吹常吉邸が竣工 1924(この年)
- 足利 貞氏
鏝阿寺本堂建立 1299(この年)
- 足利 尊氏
天龍寺落成 1345(この年)
園城寺新羅善神堂建立 1347(この年)

【あ】

- IR施設
「統合型リゾート実施法」公布 2018.7.20
会津藩邸
銀座大火発生 1872.4.3
愛知県児童総合センター
1997年(平9年)日本建築学会各賞 1997(この年)
愛知万博
愛知万博開催 2005.3.25
相原山首遺跡風の丘遺跡公園
風の丘葬斎場竣工 1997.2月
IRONHOUSE
2011年(平23年)日本建築学会各賞 2011(この年)
- 青井阿蘇神社
青井阿蘇神社、社殿造営 1610(この頃)
葵館
MAVO(マヴォ)結成 1923.7月
青葉台ぼんえるふ
青葉台ぼんえるふ竣工 1994.3月
青山電話局
岩元権死去 1922.12.24
赤坂サカス
久米権九郎、久米建築事務所を創業 1932(この年)
赤坂サカス開業 2008.3.20
赤坂プリンスホテル
第25回(1984年)BCS賞(建築業協会賞) 1984(この年)
グランドプリンス赤坂営業終了 2011.3.31
赤坂離宮
迎賓館竣工 1974.3月
明石海峡大橋
明石海峡大橋開通 1998.4.5
赤滝橋
赤滝橋落下 1955.9.30
あか寺
興福寺本堂再建 1883(この年)
赤堀茶白山古墳
赤堀茶白山古墳出土の家形埴輪 300(この頃)
赤湯駅東口
赤湯駅東口駅舎、竣工 1993.7.14
秋篠寺
秋篠寺創建 776(この年)
秋篠寺本堂再建 13世紀(この頃)
- 秋田県木造住宅株式会社事件(秋住事件)
秋田県木造住宅株式会社事件(秋住事件) 1998(この年)
秋田県立博物館
奈良家住宅建築 1751(この頃)
第17回(1976年)BCS賞(建築業協会賞) 1976(この年)
秋田相互銀行
宮脇擅死去 1998.10.21
安芸灘地震
海軍兵学校生徒館竣工 1893(この年)
秋ノ宮村庁舎(雄勝町庁舎支所)
白井晟一死去 1983.11.22
空家等対策の推進に関する特別措置法(空家等対策特別措置法)
「空家等対策特別措置法」公布 2014.11.27
悪質商法
阪神・淡路大震災による住宅相談など急増 1995.1月
悪質リフォーム被害が問題化 2005.5月
震災による住宅相談など急増 2011.3月
「震災関連悪質商法110番」実施 2011.3月
「宅地建物取引業法施行規則」改正 2011.10.1
芥川賞
東京會館新館開場 2019.1.8
アークヒルズ
アークヒルズ竣工 1986(この年)
あけぼの学園 南楓亭
平成22年度 日事連建築賞受賞作品 2010(この年)
揚屋
島原角屋が移築 1641(この年)
阿佐谷の家
1995年(平7年)日本建築学会各賞 1995(この年)
浅草公会堂
浅草公会堂、開場 1977.10月
朝倉館跡
一乗谷朝倉館跡 1471(この頃)
麻田駒之助邸
麻田駒之助邸が竣工 1921(この年)
浅野セメント東京工場事務所
コンクリートブロックが日本に導入 1905(この年)
旭川市庁舎
昭和34年度 日本建築学会各賞 1959(この年)
朝日・東海ビル
第14回(1973年)BCS賞(建築業協会賞) 1973(この年)
朝吹常吉邸
朝吹常吉邸が竣工 1924(この年)

日本建築文化史事典

—トピックス 古代 -2021

2021年9月25日 第1刷発行

発行者／山下浩

編集・発行／日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <https://www.nichigai.co.jp/>

電算漢字処理／日外アソシエーツ株式会社

印刷・製本／シナノ印刷株式会社

不許複製・禁無断転載

(中性紙三菱クレームエレガ使用)

<落丁・乱丁本はお取り替えいたします>

ISBN978-4-8169-2893-2

Printed in Japan, 2021

本書はデジタルデータでご利用いただくことができます。詳細はお問い合わせください。